

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
メイク・ヘアー・ネイル技法 Make Hair Neir Technique		1年・2年	通年	月・火曜 集中授業（開講日は事前に連絡します）
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	講義		選択（集中授業（日程は事前に連絡））	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ファッションショー関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションコーディネート ファッションフィールド関連科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
小山 隆人 ・ 阿部芳子		福祉棟 3F	授業時に指示する。	授業中に指示します
授業の概要				
ファッションは個人のアイデンティティを表現する重要なアイテムである。ファッションビジネスでは常に受けて側がどのようなものを求めているか、敏感に受け入れる感性が必要とされる。ヘアー・メイクやネイルの技術を学び、ファッションをトータル美で提案し、実践できるよう講義・演習を通して習得する。				
授業の到達目標				
ファッション表現に合わせたコーディネートで、ヘアーやメイク・ネイル表現は重要である。和装・洋装のファッションのTP0に合わせた表現や季節に合った利用法や表現法をできるようにする。技術の習得がトータルコーディネートテクニックとして重要であることを学ぶことができ、写真撮影やファッションショーなどでは応用表現ができるようにする。				
授業の方法				
講義と演習で習得する。毎回授業内容は異なり、実技やレポートの提出をする。化粧品の種類や道具の使用法を学び、各人の肌診断を行う。テーマ別に基礎知識を理解、基礎技術、各人に合わせたメイク・ヘアー・ネイル表現、次第にファッションに合わせたコーディネートの表現をする。作品は発表形式で、表現の多様性を理解し感性を高める。ファッションショーや撮影のための練習もする。（教材は個人と共同に分け、共同使用分は集金する）				
学習の成果				
①ファッションとメイク・ヘアー・ネイルのトータル美を理解することができる。②TP0に合わせて、自らのメイク・ヘアー・ネイルの表現をすることができる。③商品企画やデザイン、販促関連業務まで初歩的なトータル美の感性でアドバイスをすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	美容文化論	髪型・顔と心と化粧の関係		担当：阿部
第2回目	ヘアー道具の説明と使用法			担当：小山
第3回目	ヘースタイルの基礎（ビンの止め方、逆毛の立てかた、編み込みの方法など基本のヘアーアレンジ） 担当；小山			
第4回目	ヘースタイルング応用（ファッションにあわせたヘアーアレンジ）			担当：小山
第5回目	ヘアーメイク①（年齢や顔立ち、ファッションに合わせたヘアーメイク）			担当：小山
第6回目	ヘアーメイク②（ファッションショーなどのヘアーメイク）			担当：小山

第7回目	化粧品の種類	メイク道具の説明と基本セッティング	担当：小山
第8回目	皮膚生理学	肌の構造 表情筋	担当：阿部
第9回目	スキンケア（クレンジング～化粧水～乳液～フェイスマッサージ）		担当：小山
第10回目	メイクアップ基礎（年齢や顔立ちにあわせたベースメイク、ポイントメイク）		担当：小山
第11回目	メイクアップ応用（ファッションに合わせたベースメイク、ポイントメイク）		担当：小山
第12回目	手・爪の手入れ	マニキュアとネイル	担当：小山
第13回目	ネイルアート	練習（目的別）	担当：小山
第14回目	メイク・ヘアー・ネイル	トータル技法（練習）	担当：小山
第15回目	ファッションとヘアー・メイク・ネイルのトータルコーディネート	発表 撮影	担当：小山
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	積極的に集中して授業に参加し、楽しく受講することができていたか。忘れ物はなかったか。
レポート		20%	テーマに沿った内容やトータル美の視点で、きちんとまとめられていたか。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容（態度含む）		50%	ファッショントータル美の感性を向上させることができたか。
その他			
教科書と参考図書			
適宜、教材を指示、ビデオやプリントを使用			
履修上の心得・ルール			
テーマ別の受講は履修として認めない。身だしなみの注意。日頃から自身の人格形成に向上心を持つことを望む。受講生数に制限がある。			